

夏真っ盛りです！しかし、暑い～暑い～…と言っているにもかかわらず始まらない！こんな暑い時にこそさらに熱く燃えるか！！それとも、日本アルプス 3000m級の登山で涼しく過ごすか？ さあー、どっち？日本の夏は短いぞ！！

## イベント案内

### 真夏のバーベキュー大会！！

～暑い夏、さらに熱く！！肉も、体も、焼きまくれっ！！～

日 時：8月12日（土） 11日（金）23時集合

目的地：日本海・京都府網野方面

集合場所：JR千里丘駅 [JR京都線・大阪駅より普通で約15分]

(改札を出て左前方の階段を下りたところ。喫茶店 CITY の前)

持ち物：水着、着替え、食器、米1合

参加費：¥6,000-

その他：帰りは温泉に立ち寄ります。

現地到着は、12日早朝になります。希望者は、釣りでもどうでしょうか？

### 夏山登山／南アルプス・仙丈岳

～下界ではうだるような暑さでも、3000mの山ともなれば涼しい風が吹き、  
広がるお花畑に、素晴らしい眺望！別世界です！～

そう、想えば1年前。小雨降るなかに登り始め、必死で乗り越えた岩場の直登コース！

そして、下山は「恐るべし、双児山！」の、あの甲斐駒ヶ岳と対峙する

南アルプスの女王・仙丈岳へ！今回も北沢峠からのスタートです。

日 時：8月26日（土）～27日（日） 25日（金）23時集合

目的地：仙丈岳（3033m）／長野県

集合場所：JR千里丘駅 [JR京都線・大阪駅より普通で約15分]

(改札を出て左前方の階段を下りたところ。喫茶店 CITY の前)

持ち物：ザック（40L以上）、シュラフ、雨具、水筒、防寒具、着替え、帽子、食器、  
ヘッドランプ、登山靴ほか

コース：大阪～戸台口（車）、戸台口～北沢峠（バス）、北沢峠～大平山荘～馬ノ背  
ヒュッテ～仙丈岳～小仙丈岳～大滝ノ頭～北沢峠（歩行時間約7時間）

参加費：¥18,000-

申込み：参加希望者は8月15日までにご連絡ください。

その他：テント泊となりますが、登山口（北沢峠）にてテント設営後の登山となりますので、シュラフ・マット等宿泊装備を持つての行動ではありません。  
ただし、3000mを越える山です。しっかりした装備が必要です。

## イベント報告

### NO. 51 御嶽山登山&キャンプ（長野県・御嶽山） 2000. 6. 23～25

6月24日未明から降り出した雨は、御嶽山に近づくにつれ激しさを増し、これでもか！と言わんばかりの雨の中を走る車の中では、すっかり登山はあきらめ気分となっております。

小雨とは言え、降り続く雨の中とりあえずはキャンプ場で朝食。釣りにでも行こうか、と話がまとまり出発すると雨はやみ、晴れ間ものぞく。「え～い、行けるとこまで！！」と、再び田の原登山口に引き返す。10時45分。ずいぶん遅い出発となった。

30分も歩けば雪渓が現れ、九合目にさしかかるところから目の前に広がる大雪渓！！

今回は、アイゼンを持っておられない方もおり、アイゼンなしでは危険との判断から、やむなくここで撤収となった。

八合目石室まで戻って昼食。うどんを食べるうち、雲が切れ晴れ間ものぞく。

見渡す景色のなかに、次回は頂上からの眺望を誓い、下山となりました。

下山後はゆっくり温泉につかり、すき焼き、寄せ鍋の夕食とさらに宴会はいつまでも続くのでした。

### NO. 52 北アルプス・白馬岳登山（長野県・白馬岳） 2000. 7. 14～16

ここんところずっと暑い夏空が続いておりましたが、長野県は白馬駅に着いた7月15日早朝は、どんよりと曇り小雨もぱらつく肌寒いなかでの白馬岳登山スタートとなりました。

白馬駅よりタクシーに乗換え、一路大雪渓へと続く登山口の猿倉へ。

猿倉より約1時間。白馬大雪渓が目の前に現れた。しかし、残念ながらガスがかかり上の方は見えない。アイゼンをつけ、雪渓に入ればひんやりとした風と交互に吹き下りてくる生温かい風！なんだか気持ちが悪い、と思う間に降り出した雨、雨、雨…

ついに来た！これほどの雨の中での登山は初めての経験だ！

完全防水？！のはずのレインウェアにスパッツ、手袋も何のその！間もなく、全身はずぶぬれ状態となりおまけに靴の中にまで水がしみ込む始末！さらに、強風が吹き荒れ、体感温度は下がるばかり。

しかし、そんななかでも登山者は文句も言わずただただ前進を続ける。これには、ほとんど感心する。まさしく、これは修行か？いや、新手の宗教かもしれない？そんななか身を置いている私も信者の一人か？

雨がしみ込んだザックはさらに重さを掛けてきた。濡れて冷え込んできた身体に肩に食い込むザック、どしゃ降りの雨の中、ろくに食事もとっていない。何度も現れる雪渓に霧でまわりの景色もよくわからない。なぜ、こんなところにいるのか？登山の何が楽しいんだ？

疲労はピーク！休みをとる回数が増えてきた。次第に、休みをとる時間の方が長くなる。それは、まさしく牛歩のごとくいや蝸牛の一步のようにわずかな歩みでも進めるうちはよいが、休みを取るともうどうしようもない。休んでも、状況が良くなるはずもなくむしろ悪くなるばかり。そんなことはわかっていながら、身体は動かない。しかし、自分の足で進むしかない！登山とはそういうものなのだ。

何度、アイゼンをつけたりはずしたりを繰り返したろう？まだ雪渓は続くのか？そんな思いのなか、一瞬霧が晴れた！「おおっ！山小屋だ！」ようやく、ついたんだ！！

どしゃ降りのなか村営頂上宿舎にたどり着いたのは、午後 3 時 30 分！猿倉より優に 7 時間を超えている。この状況ではテントは無理と言うことで山小屋泊に決定。それならば、とこよりもう少し上にある白馬山荘を目指し、再び雨の中へ！

倒れ込むようにして、白馬山荘へ到着。なによりも、まず腹が減った！そしてビール！と言うことで、早速自炊場で持ってきた焼肉にビールで乾杯！！「うっ、うまいっ！！」一気に食べたあとは、山小屋の夕食である。腹ふくれれば、眠気もおそってきた…

窓を震わせる強い風のため？かどうかわからないがゆっくりとした朝となった。しかし、窓から眺めれば、雨もやみ、遠くには晴れ間も見えている。

あまりの強風に身体ごと飛ばされそう！午前 9 時。白馬岳頂上、2932.2m 到着！

このあとは、小蓮華山から白馬大池を経て白馬乗鞍岳、梅池を目指す。昨日とは打って変わっての、あまりにも良過ぎる天気である。

白馬大池で昼食、ちょっとのんびりし過ぎたか？梅池自然園からのロープウェイに間に合うかどうかと言う時刻に気付き、雪渓を転びながら、自然園を走り抜けると言うあわただしい下山となった。

それでも、やはり最後は温泉で締めくくり。今日の日差しですっかり焼けてしまった。そして、温泉から出れば昨日のつらさもどこかに吹き飛び、再び次回の山行を考えるようになるのである。

【以上 栗原隆一 記】

## T e n t   S i t e

～みなさんからお寄せ頂いた、感想文・報告を紹介いたします。～

[11 - 115 足立 一明]

### 1. グリラ企画「お花見チャレンジ2000」 4/8/2000

桜を見るとやっぱり春になったなーと実感しますよね。お酒が好きでお肉が好きで桜が好きな僕にはも一たまらない季節です。そこで、たまには企画してみようかなとメーリングリストで声をかけ始めたのがきっかけでした。

会社にも新入社員がはいつてきて新たな一年が始まった4/8に16人が堺市浜寺公園に集ったのでした。

準備は堺市ということもあり、PAO 南チームに協力をしてもらいスムーズに始まりました。場所も周りを桜に囲まれた絶好のポイント。場所取り合戦にも勝利し、あとはただ食べて飲んで騒ぐだけ。

いつもは企画をしてみんなに気を使っている栗原リーダーも今日は日ごろの仕事のスト

レス発散モードに突入。ビールに日本酒、ワインもと勢いは止まりません。三島さんの得意とする、牛タン丸焼きも登場してみんなの笑顔絶えません。リーダーも終始にここ。たまに言葉を発すれば「何がやねん！！」

本当に楽しい一日となりました。

B B Q 終了後は隣接する天女の湯に向かい、体をさっぱりと。この時にはリーダーの記憶が無くなっていたようで、風呂の中でぶくぶくおぼれておりましたよ。

でも3次会とばかりに向かったボーリング場では圧倒的点数で負けたのが理解できません。酔っ払いに負けるのは悔しいです。この次はトリベンジを考えています。

今回はサークルの通常企画ではなく、アウトドアといっても体力を使うようなものではなかったです。しかしながら、たまにはこんなのもいいんじゃないでしょうか。

ばか騒ぎできる仲間がいるのもサークルの良いところですよね。

また、今度もやりましょう！！

## 2. PAO 番外編「初夏の釣りツアー」 5 / 12 ~ 13

夜 24 : 00 一次集合し、和歌山方面へ出発。途中で前田さんと合流しそのまま目的地へ向かいました。目指すは有田。大漁をイメージしながら僕のこころはわくわくどきどき。

参加者の5人も同じ気持ちに違いありません。

今回のねらいはキス、チヌをいうこともあり、美味しい魚ばかりです。餌はまむし、石ごかいそして、はさみのあるザリガニの赤ちゃんみたいな変な虫。準備万端です。

まずは朝を迎えるまでは堤防での浮き釣り。久しぶりの釣りであった為、仕掛けを用意するのに一苦労です。しかしながら徹夜で釣りをするのもいいものです。

早速一投め。ん？なんだか底が浅いぞ。でも暗くて良く見えないや。夜中の第一陣では手応えがないまま朝を迎えてしまいました。

朝になってみると、やっぱりそこが浅く、魚が見当たらない。本番に期待しながらも、すこしだけおねむモードに突入。ご飯を食べてちょっとだけ、こそっと栗原さんに運転を任せて眠ってしまいました。でも栗原さんにはばれませんでした。

朝は8 : 00 過ぎから、釣り餌屋さんの船に乗って「一文字」と呼ばれる防波堤へ移動。

ここは大物が釣れるすごいポイントです。みんなはやはり投げ釣りをしています。でもこのときには僕はかなりのおねむモード。体力を使う投げ釣りよりも堤防壁際での浮き釣りを選択しました。投げ釣りではないので、釣具屋で買った¥1,200のセットで遊び始めたのでした。

第一投めで何だかびくびく手応えがあり、魚の存在を確認。ちょっと真面目に浮き下の長さを調整。直ぐに当たりが来たのでした。やっぱり、浮き釣りでは浮きがぐぐぐっと引き込まれるのが面白い！！釣れた魚はなんだか見たことのない変な魚。前田さんに聞くと「がしら」という名前のように。その後は面白い様子がしがらが釣れ始めました。

井山さんや橘さんにも当たりが始まり、良き一日になりました。

その後は、初夏の風と波の音を聞きながら、のんびり睡眠。

とても気持ちのよいツアーとなりましたよ。釣りの後は、黒潮温泉へGO！潮の香りのする温泉で一日の汗を洗い流しました。ここですっきりしたのはいいのですが、ここでもう起きていることの我慢が限界に達し、またも帰りの車の中でうとうと。

栗原さん、ばれてましたか？でも高速道路途中の暴れ者により目が覚めましたけどね。

夜は前田さんの行き付けのお好み焼きやさんへ。場所は変わっても PAO の夕食はお好み焼きでした。みんな本当に好きなんですね。もちろん僕も美味しくぺろっと頂きましたよ。

それにしてもこれからは釣りの季節。僕は釣りが好きなんです。  
また、みんなで行きましょう！！！！

### <No. 51 御嶽山登山&キャンプ（長野県・御嶽山） 2000.6.23~25>

[11 - 147 森川 浩]

少し雨のぱらつくなかでの出発、そして大津SAにつくころには大雨となっていました。それから先も物凄い大雨で高速での視界は10m?といったところで運転に注意しながらも無事現地到着。しかしあいにくの雨・・・もはやこれまでと諦めて一度はキャンプ地に戻りその後、釣りにでも行こうかと下山始めた時・・・山の天気はまさに変わり易いもので晴天とは行きませんでした。なんとか雨も止みだしたので再び登山口へと引き返しました。

また、少し雲が出始めたのですが登山を強行！霧の中での登頂となりました。9合目標高約2800m?の地点までは到着できたのですがここで季節外れの大雪渓が有りアイゼン無しで登っている登山者の方もいたのですが、安全を第一と考えやむなく「撤退」を余儀なくされました。各員アイゼンさえあれば問題なく行けるコースでありましたので装備の甘さを考えさせられる場面でもありました。その後下山途中雲の切れ間からみえる風景は曇りとはいえ流石に3000m級の山！すばらしい風景でした。

下山後夕食の食材を調達するためスーパーを探したのですが山奥ということもあってか車で40分程走り、隣町まで行っての買出しとなりました。しかも閉店時間は18:30・・・慌しく買出しを終え晩の宴会スタートとなりました！今回はキャンプ客も少なかったため「もんく」をつけられることも無く楽しく過ごすことができましたようです。私は途中で寝てしまって聞けなかったのですが、後から聞いたところによりますと栗原氏が酔った勢いで「飲んで～飲んで～飲まれて～飲んで～飲みつづけて～」とあの川島えいごの歌を歌っていたそうです。聞き逃したことが残念でなりません・・・

そして翌日、ムカツク程の晴天の中、今回は頂上まで行けなかったので「I 'WILL BE BACK !」と一人心のなかで呟きながら大阪への帰路につきました。

### <PAO企画番外編 氷ノ山登山（兵庫県・氷ノ山 2000.7.1）>

[11 - 147 森川 浩]

午前3:30頃?現地到着しました。夜空を見上げると標高があまり高くない割には満点の星空で、近くでは川のせせらぎも聞こえ非常に快適な仮眠キャンプでした。

先週の御岳山と打って変わって晴天すぎてキツイ日差しの中の登頂となりました。標高が低かったため、森林も背が高く日差しはそんなにキツクなかったのですが、その分「暑い～暑い～蒸し暑い！」といいながら休憩も少しでも風が吹き抜ける場所を選びながら進んで行きました。突然草むらの中をうごめく蛇にビックリさせられながらも無事到着。頂上の景色はというと風が少なく空気が少し澱んで?いたせいかちょっと期待外れで、大山等は見ることができず残念だったもののそれなりに達成感がありました。今回は本当によく汗をかきました！節約しながら水は取ったつもりですが、500ml×3本+αもの水分を取ってしまいました！ダイエットには良かったかも？

### <No. 52 北アルプス・白馬岳登山（長野県・白馬岳） 2000.7.14~16>

[11 - 147 森川 浩]

22:30千里丘に集合し、白馬岳へと向かいました。場所はスキーにいかれた方なら御存知だと思いますが、岩岳スキー場の奥から入山し樽池スキー場へ下山のコースです。

当初の週間天気予報では、晴れの予定だったのですが直前の予報では雨とのこと、最近雨が多いのでまた？と思っていたのですが向かう道中は雨もなんとか持ちこたえてくれました。

そして登山口へ。空は曇っていたものの何とか順調に一時間程で大雪渓に到着しました。下界では「焼死ぬ程」暑いのですが、大雪渓は健在で止まっていると少し肌寒く感じました。早速アイゼンをはめ「サクサク」と歩き始めました。大雪渓は下から見上げると登山者の方が背負っているザックの色がまるで雪面に咲いた花のように鮮やかで有りました。

しかし順調だったのはここまででした。この後、栗原氏も体験したことが無い凄まじい風雨が来たのでした。本格的に雨が降り出したのは恐らく10:00頃？だったと思います。それから山小屋に到着17:00?まで、止まることが許されない「苦行」が始まりました。別に止まって休憩しても良いのですが止まると物凄く寒いのです!!そんな状況ですから当然昼食も非常食を少ししかじるだけ!高度2000m以上の世界では風雨を遮ってくれる森林もなく、突風に飛ばされないように時折身を屈めながらの登頂でした。そしてやっとの思いで山小屋に到着した時は「寒さ・飢餓感」で疲労のピークでした。そんな中、自炊場で食べた「焼肉の味」はどんな高級店よりも美味しく感じた!!その疲労からか、20:00に就寝しました。いつものようにお酒を飲み騒ぐ体力は残っていませんでした.....

2日目6:30目覚めると雨は止んでいるもののまだまだ突風は吹き荒れていました。しかし徐々に天候は回復しつつ有りました。山小屋をでて15分程で山頂2932mへ槍ヶ岳、日本海は見たものの富士山方面はまだガスがでていたため見えませんでした。その後徐々に風は止みだし白馬大池に到着するころにはすっかり晴天となり、日差しが痛いくらいでした!今回初めての晴天です!!あまりに天気良かったのでのんびりしすぎてしまいましたのでその後、ロープウェイの最終に間に合わせるための強行下山となりました。下山できたのは18:00だったと思います。その後一路恒例の温泉へ!

最終的に自宅到着は夜中の2:30でした。次の日、は筋肉痛でロボコップのようにギクシャクした歩き方での出勤でした。

今回の登山前半は「苦行」でした。その中で雨登山の「なんたるか」については大いに学べたと思います。苦行といいながらもそれだけに達成感も大きかったです。白馬岳は本来高山植物の宝庫で有り非常に美しい山ですので再度登って見たいと思います。

### PAOホームページ公開中!!

アドレスは、<http://odcpao.com>

PAO通信・PAOの活動に関するご意見、ご希望また企画や体験談などお寄せください。お待ちしております。

緊急企画等につきましては、PAOホームページおよびEメールにてお知らせしております。パソコン・携帯情報端末・FAX等お持ちの方は、アドレス・FAX番号をお知らせください。お持ちでない方は、電話・ハガキ等にてお問い合わせください。

アウトドアサークルPAO 栗原隆一

Eメールでも受付中!アドレスは：[info@odcpao.com](mailto:info@odcpao.com)

00.8.8